

医療系重要テーマ

～小論・面接対策～

医

脳死・臓器移植

脳死とは・・・？

脳の機能が低下（又は停止）しているが人工呼吸器などにより、臓器などは生きている状態の事（臨床的な脳死）

※昔は

肺機能が停止する→心臓機能が停止する→脳機能の停止

けれども医療技術の発達により肺機能が停止しても、人工呼吸器などで補えるようになった。→心臓機能は健全

日本における脳死

1. 深昏睡
2. 瞳孔固定 両側4mm以上。
3. 脳幹反射
4. 平坦脳波
5. 自発呼吸の消失

これを移植に関係のない、脳死判定の経験のある2名以上の医師で行い、6時間後に2回目の判定を行う。

→脳死判定が行われるまでは生きている人

→同じ状態でも生きている人と死んでいる人が存在する

なぜ脳死判定を行うか？

→臓器移植をするため

法改正により2010年から本人の臓器移植の意志が不明な場合も家族の承諾があれば臓器移植できるようになった。

→15歳以下の人でも臓器提供ができるようになった。

~Plus α~

2010年7月17日改正臓器移植法施行

2010年8月9日ドナーカードを持っていなかったが家族に意志がある事を話していた20代男性

2010年8月19日提供意志の不明な18歳以上の男性

2011年4月12日15歳未満の子供の初の脳死判定

2014年4月14日現在 脳死臓器提供は267例

問題点

脳死が本当に人としての死なのか？

→海外では脳死からの回復例もある。

→いまの判定方法では脳の細胞が本当に死んでいるのか分からない

→回復可能性は高い

臓器移植について

心臓、肺、腎臓、肝臓、骨髄などがある。（ぜんぶだったり一部だったり）

問題点

免疫反応

自分のものでないものを体内に入れるのだから拒絶反応が起こる。

→だから移植するときには適合者を見つける必要がある

→家族の人は遺伝子が似ているから適合である可能性が高い

臓器売買

臓器移植待ちの人は多く、お金を出しても欲しい人はいる。

→発展途上国の人がお金欲しさで臓器を売る（腎臓2600万、心臓1200万）